

別添資料 1 日本の基礎生活分野の協力実績（金額、人数ベース）

セクター	実施年	名前	実施組織	スキーム	投入金額	専門家数、研修生、JOCV	受益者数
保健医療	1994～1999	サンタクルス医療供給システム計画	JICA	プロジェクト方式技術協力	90.57億円	長期12名・短期43名	サンタクルス市 総人口113万人
	1996～1999	サンタクルス地方公衆衛生向上計画	JICA	チーム派遣	不明	12名	5つのパイロット地区の住民2,229人、今後9つの地区で6,000人（見込み）
	1998～2000	ラパス母子保健医療機材整備計画	外務省 / JICA	無償資金協力	9.98億円	13名	5歳未満の乳幼児18万人、15歳から49歳までの妊娠可能な女性28万人
	1998～1999	予防接種拡大計画	外務省 / JICA	無償資金協力	4.01億円		乳児および妊産婦、受益者総数不明
	1996～2000年に派遣された研修生					80名	不明
	1996～2000年に派遣された専門家					9名	不明
	1996～2000年に派遣されたJOCV					36名	不明
	1996～2000年に実施された草の根無償 15案件				0.97億円		21万3000人
	小計				105.53億円	205名	181万人
水・衛生	1996～1997	地方地下水開発計画	外務省 / JICA	無償資金協力	31.02億円		・本プロジェクトの直接の裨益人口 サンタクルス県：約10,000人、 チュキサカ県：約14,000人 ・ボリビア側による残り5カ年の地下水開発が完了した場合 サンタクルス県：約57,000人、 チュキサカ県：約112,000人
	1998～1999	第二次地方地下水開発計画	外務省 / JICA	無償資金協力	18.73億円		・本プロジェクトの直接の裨益人口 タリハ県：9村落・約5,000人、 オルコ県：8村落・約10,000人 ・ボリビア側による残り5カ年の地下水開発が完了した場合 両県で148村落、約6.8万人
	1996～2000年に派遣された研修生					40名	不明
	1996～2000年に派遣された専門家					7名	不明
	1996～2000年に派遣されたJOCV					2名	不明
	1996～2000年に実施された草の根無償 14案件				0.65億円		19万9000人
	小計				50.4億円	49名	43.6万人
教育	1998～2000	小学校建設計画	外務省 / JICA	無償資金協力	22.54億円	12名	ラパス市 児童7,000人 コチャバンバ市 児童11,700人
	1996～2000年に派遣された研修生					17名	不明
	1996～2000年に派遣された専門家					6名	不明
	1996～2000年に派遣されたJOCV					16名	不明
	1996～2000年に実施された草の根無償 27案件				1.57億円		10.9万人
	小計				24.11億円	51名	12.77万人

合計 180.04億円 305名 237.37万人